

景気ウォッチャー調査

平成12年7月調査結果

平成12年8月21日

経済企画庁調査局

調査の概要

1. 調査の目的

地域の景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域ごとの景気動向を的確かつ迅速に把握し、景気動向判断の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の範囲

(1) 対象地域

北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の6地域を対象とする。各地域に含まれる都道府県は以下のとおりである。なお、平成12年1月調査は関東を除く5地域を対象とした。

地域	都道府県
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	静岡、岐阜、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
全国	上記の北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の計

(2) 調査客体

家計動向、企業動向、雇用等、代表的な経済活動項目の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の適当な職種の中から選定した1地域当たり100人、合計600人である。調査客体の地域別、分野別の構成については、別紙を参照のこと。

3. 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1)の理由
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3)の理由
- (参考) 景気の現状に対する判断（水準）

4. 調査期日及び期間

調査は毎月、当月時点であり、調査期間は毎月25日から翌月1日である。

5. 調査機関及び系統

経済企画庁が主管し、各調査対象地域に地域ごとの調査を実施する「地域別調査機関」を1か所ずつ設けるとともに、各地域別調査機関による地域ごとの調査結果を集計・分析する「取りまとめ調査機関」を1か所設け、これらの機関に本調査業務を委託して実施したものである。

(取りまとめ調査機関)	財団法人	日本経済研究所
(地域別調査機関)	北海道	株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
	東北	財団法人 東北開発研究センター
	関東	財団法人 日本経済研究所
	東海	株式会社 東海総合研究所
	近畿	株式会社 大和銀総合研究所
	九州	財団法人 九州経済調査協会

6. 有効回答率

地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率	地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率
北海道	100人	98人	98.0%	東海	100人	99人	99.0%
東北	100人	94人	94.0%	近畿	100人	90人	90.0%
関東	100人	92人	92.0%	九州	100人	94人	94.0%
				全国	600人	567人	94.5%

目 次

概要	1
1．景気の現状に対する判断	2
(1) 全国の動向	2
(2) 各地域の動向	2
(3) 景気の現状に対する判断理由	3
2．景気の先行きに対する判断	15
(1) 全国の動向	15
(2) 各地域の動向	15
(3) 景気の先行きに対する判断理由	16
(参考) 現在の景気水準に対する判断	27
(別紙) 景気ウォッチャー(調査客体)の地域別・分野別構成	28

利用上の注意

1. 景気ウォッチャー調査は、本年より新規に行う調査であることから、当面の間、試行的に実施するものであり、今後、必要に応じ変更することもあり得る。
2. 分野別の表記における「家計動向関連」、「企業動向関連」、「雇用関連」は、各々家計動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、企業動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、雇用関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断を示す。なお、このうち雇用関連業種は、主として企業の求人動向に関連した業種である。
3. 表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、計と内訳は一致しない場合がある。

D I の算出方法

景気の現状、又は、景気の先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、この点数で回答結果の構成比(%)を加重平均して、D Iを算出した。

評価	良くなっている (良い)	やや良くなっている (やや良い)	変わらない (どちらとも言えない)	やや悪くなっている (やや悪い)	悪くなっている (悪い)
点数	+ 1	+ 0 . 7 5	+ 0 . 5	+ 0 . 2 5	0

概 要

1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

図表A 全国における景気の現状判断D I
(D I) 平成12年

	5月	6月	7月
合計	50.2	50.1	50.4
家計動向関連	47.4	48.2	48.8
企業動向関連	57.4	51.7	52.3
雇用関連	56.4	62.5	60.0

図表B 各地域における景気の現状判断D I
(D I) 平成12年

	5月	6月	7月
全国	50.2	50.1	50.4
北海道	43.3	49.5	49.7
東北	50.8	48.2	46.0
関東	50.3	50.0	50.3
東海	56.6	54.1	53.3
近畿	47.1	48.6	48.6
九州	53.2	50.0	54.5

2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

図表C 全国における景気の先行き判断D I
(D I) 平成12年

	5月	6月	7月
合計	54.2	54.8	51.3
家計動向関連	52.7	53.5	49.3
企業動向関連	56.5	57.1	54.4
雇用関連	61.7	60.4	61.1

図表D 各地域における景気の先行き判断D I
(D I) 平成12年

	5月	6月	7月
全国	54.2	54.8	51.3
北海道	50.0	55.5	50.5
東北	54.6	52.1	49.5
関東	55.4	53.2	52.2
東海	58.6	57.9	53.0
近畿	54.2	57.1	50.8
九州	52.7	52.9	51.6

1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

(1) 全国の動向

分野別の景気の現状判断D I

図表1-1-1 各分野における景気の現状判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	2月	3月	4月	5月	6月	7月
合計	48.6	55.2	55.2	50.2	50.1	50.4
家計動向関連	47.0	53.3	52.9	47.4	48.2	48.8
小売関連	48.1	51.9	51.2	44.4	47.8	45.5
飲食関連	40.8	54.3	48.3	44.6	42.9	48.6
サービス関連	47.3	55.1	57.0	51.1	50.4	53.1
企業動向関連	49.1	57.0	59.4	57.4	51.7	52.3
雇用関連	60.7	66.7	65.0	56.4	62.5	60.0

(2) 各地域の動向

地域別の景気の現状判断D I（各分野計）

図表1-2-1 各地域における景気の現状判断D Iの推移表（各分野計）

(D I)	平成12年					
	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全国	48.6	55.2	55.2	50.2	50.1	50.4
北海道	47.0	51.5	44.0	43.3	49.5	49.7
東北	46.8	54.1	56.2	50.8	48.2	46.0
関東	47.0	53.8	55.7	50.3	50.0	50.3
東海	53.8	59.8	58.2	56.6	54.1	53.3
近畿	48.2	53.1	58.1	47.1	48.6	48.6
九州	48.7	58.7	59.7	53.2	50.0	54.5

地域別の景気の現状判断D I（家計動向関連）

図表1-2-2 各地域における景気の現状判断D Iの推移表（家計動向関連）

(D I)	平成12年					
	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全国	47.0	53.3	52.9	47.4	48.2	48.8
北海道	46.1	50.3	40.3	39.6	49.0	47.5
東北	44.9	52.5	54.6	46.5	45.7	42.6
関東	46.6	51.5	55.1	48.9	48.9	49.2
東海	51.4	57.5	54.9	57.3	52.8	50.7
近畿	46.5	52.3	56.7	43.4	45.5	48.8
九州	46.4	55.6	56.8	48.5	46.7	54.0

(3) 景気の現状に対する判断理由

景気の現状に対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

北海道

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・周辺の状況を見ると、飲食や旅行に関する財布のひもがゆるくなってきている。
		百貨店（売場主任）	・レジ待ちの客数は伸びていないが、客単価は上昇してきている。ただし、法人は中元の動向をみても、良い状況とは言えない。
		スーパー（企画担当）	・客単価がここ1、2か月、前年と同じくらいに上昇してきている。
		コンビニ（エリア担当）	・前半の天候が良くて、売上が非常に好調に推移している。
		家電量販店（店員）	・AV関係があまり良くないが、今月もエアコンの売上が好調に推移しており、若干客単価が上昇してきている。
		高級レストラン（スタッフ）	・有珠山噴火の影響で観光客の入込が4月以降はどん底であったが、今月に入り少し増加している。
		高級レストラン（経営者）	・7、8月は観光シーズンであり、今のところは観光客の来店が増加している。
		一般レストラン（スタッフ）	・来客数、売上ともに増加し、回復傾向にある。
		スナック（経営者）	・7月になってから観光客が来店し、少しはにぎやかになっている。
		その他飲食〔酒卸〕（店長）	・7月は非常に忙しい日が多かった。ただし、内訳をみると、必需品や低価格の商品が中心である。
		観光型ホテル（役員）	・洞爺湖が7月中旬にオープンした。ただし、登別が若干落ち込んだ。定山溪は順調に推移している。
		旅行代理店（従業員）	・道内の諸問題が解決して、客が動き出している。
	タクシー運転手	・北海道の場合は今が一番良い季節なので、人々の動きも4、5月より活発になっており、我々の職業（運転手）も売上が少し増加してきている。	
	変わらない	商店街（代表者）	・周辺の話を見ると、ボーナスが支給されないところがあり、活気がみられない。
		コンビニ（エリア担当）	・前半は天候も良く売上が増加したが、後半に入り雨が降ったとたんに予想以上に売上が低迷している。
		衣料品専門店（店長）	・2か月前から置いている低額商品は、客の飛びつきが良く、売上に貢献しているが、高額商品の売上は低迷している。
		家電量販店（店長）	・依然として、客は必要な物しか購入しない状況が続いており、高額商品の販売が低迷し、単価の低下が続いている。
		一般レストラン（スタッフ）	・先月までは、売上の前年比の伸び率が上昇したが、今月に入り、北海道では暑さもないせいか、前年の売上を下回っている。
		旅行代理店（従業員）	・良くなっている様相、悪くなっている様相、それぞれ様々である。
タクシー運転手		・北海道観光の最盛期である7月になっても、タクシーの利用客が増えず、実車率、乗客率が減少している。	
タクシー運転手		・固定客の利用回数の減少とともに、一般客の利用度合いに回復の兆しが依然としてみえない。	
美容室（経営者）	・来客数が減少したままであり、今月前半は良かったが、後半は減っている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	やや悪くなっている	一般小売店〔土産〕(店員)	・有珠山噴火の影響が去り、7月は売上が増加すると期待したが、実際にはそれほど増加していない。
		百貨店(売場主任)	・中元を始めとするボーナス商戦の時期であるが、3か月前と比べ、売上の伸び率が大きく低下し、客単価も低下している。
		百貨店(売場主任)	・7月に入って、中元商戦が大変厳しい状態である。 ・化粧品関係、夏物セールともまとめ買いが少なく、単価も低下している。
		スーパー(企画担当)	・7月の気温の上昇が昨年に比べ緩やかであり、ドリンク、アイスクリーム等の売上が伸び悩んでおり、消費動向は総じて厳しい状況が続いている。
		スーパー(店長)	・引き続き客数は前年水準を維持しているが、客単価、回転数が低下している。
		乗用車販売店(経営者)	・雪印、そごう問題でマーケットに不安感が出てきており、消費活動も消極的になっている。
		自動車備品販売店(店長)	・来客数が減少しており、オーディオ、カーナビ等の販売台数も減少している。
		高級レストラン(スタッフ)	・観光客が主体となるこの時期、航空運賃改定が足かせとなって企業のツアーの入込が減少している。
		スナック(経営者)	・週末に街中にいるのはほとんど若者であり、スナックの客は少ない。
		タクシー運転手	・新しく入社する乗務員の中に、企業の倒産、リストラなどで転職してくる人が多くみられる。
	タクシー運転手	・期待をしている7、8月の観光シーズンであるが、層雲峡、天人峡、美瑛、富良野方面の観光予約が全くない。	
	悪くなっている	商店街(代表者)	・ボーナスが出ない企業が昨年より多く、まだまだ売上が回復するような状況にはみえない。
		百貨店(売場主任)	・夏のセール価格でも客に買ってもらえない。
住宅販売会社(従業員)		・住宅業界では、一戸建て住宅の受注が低迷している。	
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	非製造業〔建設機械レンタル〕(総務担当)	・全体的に売上が上向きであり、特に、今まで悪かった旭川地区が良くなっている。
		その他企業〔コンベンション担当〕(従業員)	・客単価は低下しているが、利用者数は増加しており、全体的にみて、そこそ良くなっている。
	変わらない	家具製造業(経営者)	・そごうの民事再生法適用の関係によって株価も低迷しているし、耐久消費財の買い控えも改善傾向にない。
		輸送業(総務担当)	・公共投資の影響等で、一部の荷動きが良くなっている面もあるが、口蹄疫や雪印の問題の影響もあり、期待したほどに動きが活発ではない。
		司法書士	・不動産取引は、土地、建物いずれも低調である。
		司法書士	・家具業界が相変わらず不振のところ、そごう問題の影響もあり、売上が減少しているようで、相変わらず景気は悪い状態が続いている。
	やや悪くなっている	広告代理店(従業員)	・雪印乳業の問題の影響を受けて、関連商品の消費も、広告発注も減少している。
悪くなっている	非製造業〔建設機械リース〕(支店長)	・取引先並びにその周辺、客の話を聞くと、経営難や設備投資の抑制等、かなり悪い状態である。	
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社(編集者)	・アルバイト、パートの求人数が好調で、求人する企業の業種が少しずつ広がっている。
		求人情報誌製作会社(編集者)	・昨年5月以来、求人数は対前年比プラスを続けていたが、今月に入りその比率が一段と上昇している。
		新聞社〔求人広告〕(担当者)	・業種によるばらつきはあるが、総体的には良好になってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・派遣の受注、売上は増加しているが、内訳をみると、欠員補充の派遣社員が多いで、景気は上向いているとは言えない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人広告取扱件数が横ばい状況である。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・企業のリストラ傾向は一段落したが、残った社員の労働条件が厳しくなって退社したり、穴埋めにパート社員を使ったりしている。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

東北

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	百貨店（広報担当）	・夏物のセールや中元商戦などにより売上が増加している。
		テーマパーク（職員）	・入場者数は前年実績を上回って推移しており、まだ予約が入り続けている。
		タクシー運転手	・タクシーの乗客が、途切れなくなってきている。
		タクシー運転手	・今月は、平均して売上が良い。
		美容室（経営者）	・好天が続き、子供連れや盆前の客が多くなっている。
	変わらない	商店街（代表者）	・7月上旬のバーゲン終了後、購買意欲が低下している。
		商店街（代表者）	・中元シーズンではあるが、前年に比べて今一つの感じがある。
		百貨店（企画担当）	・来客数は伸びているが、購買に結びついていない。
		百貨店（総務担当）	・客数は伸びているが、必要な物しか購入しないため、客単価は低迷したままである。
		スーパー（店長）	・ここ2、3か月は、客数が横ばいで客単価が前年を大きく割り込む傾向が続いている。
		衣料品販売店（店長）	・20～40代のビジネスマンのスーツの購入が慎重になっている。
		衣料品専門店（店長）	・暑さの割に夏物の売行きが良くない。
		乗用車販売店（従業員）	・売上は一進一退の状況が続いている。
		高級レストラン（スタッフ）	・客数、客単価とも、3か月前と変わらない。
		観光型ホテル（経営者）	・選挙のときに、キャンセルや延期をした客が、半数しか戻っていない。 ・客のほとんどが家族連れで、利用単価が低い。
		都市型ホテル（スタッフ）	・客数は増加しているが、消費単価が依然として低下している。 ・デパートにある惣菜の店舗は、好調に利用客が伸びている。
		都市型ホテル（経営者）	・季節要因もあるが、春のころの勢いがみられない。
		遊園地（経営者）	・イベントのときはともかく、それ以外は一般の客数は伸びない。
		競輪場（職員）	・競輪の売上が、前年同期比1割減で推移している。
旅行代理店（従業員）	・有珠山やサミットの影響で、夏の旅行需要が伸び悩んでいる。		
旅行代理店（従業員）	・夏休みの家族旅行の申込が多くなっているが、低価格志向が強い。		
美容室（経営者）	・ボーナス時期なのに購買意欲が高まらず、差し控えているように感じる。		
やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	・来客数、売上ともに2～3%減少している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		百貨店（企画担当）	・これまで若者衣料の不振が続いていたが、今月は婦人衣料も不振である。 ・中元ギフトの売上も前年の80%で推移しており、大変苦戦している。
		百貨店（売場主任）	・ボーナスが出たにもかかわらず、消費者の購買動向は、悪くなっている。 ・パーゲン品の売行きに勢いが感じられない。
		スーパー（企画担当）	・特売でも、客の選別の目が厳しくなっている。 ・客単価の低下幅が大きくなってきている。 ・雨の日は以前よりも売上の落ち込みが大きく、客が無理をして外出しなくなっている。
		その他専門店〔酒類〕（経営者）	・消費者の購買動向をみると、再び低価格傾向にあり、客単価が低下している。
		高級レストラン（スタッフ）	・週末は前年度の売上を確保しているが、平日の落ち込みが大きく、全体としてやや悪くなっている。
		一般レストラン（経営者）	・6月は客数、売上ともに2けた減となっており、7月もこの傾向は変わらない。
		その他飲食〔和食〕（経営者）	・来客数は安定しているが、客単価の低下から売上は減少している。
		観光型ホテル（経営者）	・客の宿泊申込の時期が遅くなっており、単価も低下している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会の受注件数が減少している。
		競馬場（職員）	・1人当たりの購入金額が小さくなっている。 ・3か月前に比べて売上が減少している。
		設計事務所（職員）	・春先に比べ住宅着工が伸び悩んでいる。
		住宅販売会社（従業員）	・広告チラシによる来場客数が減少している。 ・自己資金、年収が少ない客などが多く、3か月前よりも景気が悪くなっているように感じる。
			悪くなっている
スナック（経営者）	・夏休み前のため、客の入りが悪くない。		
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	新聞販売店〔広告〕	・ここ2、3か月続けて折込チラシの数が増加している。
		輸送業〔航空貨物〕（従業員）	・航空貨物取扱量が順調に増加している。
	変わらない	食料品製造業（従業員）	・多少上向いていたのが、雪印の食中毒やそごうの破たんの影響で、出荷・販売が減少している。
		木材木製品製造業（経営者）	・製材業における値動きが、地場、首都圏ともに停滞気味である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・パソコンや携帯電話などの関連会社は、忙しそうにしているが、従来の製品の製造は減少傾向にある。
		広告代理店（従業員）	・受注のペースに大きな変化がない。
		輸送業（経営者）	・貨物輸送量が一進一退の状況である。
		経営コンサルタント	・診断先企業のリストラがまだ終わっていない。
	やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	・そごう倒産の影響からか、飲食店向けや中元ギフト向け製品の出荷・販売が不振である。
食料品製造業（従業員）		・中元セールが始まったものの、中元ギフト用製品の単価が低下し、数量が減少している。	
悪くなっている	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・メーカー系を中心に新規事業の取組があり、それを担う人材募集などの話が多くなってきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告が上向いている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・正社員補充のための派遣需要が高まっている。
人材派遣会社（社員）		・大きな注文はなく、限られた一部の業種に、多少前向きな話がある程度である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

関東

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般小売店[精肉](従業員)	・ 時期的なものとギフト等が動いているのでやや良くなっているが、昨年に比べてそれほど大きな変化はない。
		百貨店(販売促進担当)	・ 7月に入り、中元ギフトが好調である。 ・ 個人部門、法人部門ともに、客数、売上の減少に歯止めがかかってきており、非常に良くなっているという手応えがある。
		百貨店(買付担当)	・ 前年に比べて、セールの時期が早まったこと、気温が上昇したことにより、来客数が増加している。 ・ 婦人服ではTシャツ、カットソーを中心とする夏物商品がよく売れている。
		コンビニ(店長)	・ 天候の良い日が続き、商品が比較的良好に売れている。
		コンビニ(店長)	・ 売上が大きく増加している。
		一般レストラン(支配人)	・ 法人需要が増加し、客単価も上昇している。 ・ IT関連等の特定企業、リピーターによる売上が主であるため、景気が全体的に良いとは言えない。
		都市型ホテル(スタッフ)	・ 7月に入り客の動きが良くなっている。 ・ 景気が多少上向いているという客の話が出てきている。
		タクシー運転手	・ 駅構内での午後10時以降の乗り場開放が廃止されたため、回転率が良くなり、営業収入は増加している。
		その他サービス[学習塾](経営者)	・ 昨年に比べて、夏季講習の受講生がやや増えている。
	変わらない	百貨店(売場主任)	・ 営業日の増加、ギフトセンターの商品券売上の伸び、競合店の不振により、前年に近い売上が何とか維持できている。 ・ それらの要因を除くと、特に衣料品等の中心商材で依然苦戦しており、売上は決して良くない。
		スーパー(店長)	・ 衣料品の売上が回復しない。特に紳士、子供服関連が悪く、前年比で20%減少している。 ・ エアコンやタオルケット等の生活必需品は、前年並みに回復している。 ・ 土用の丑の日には安いなご弁当が売れたが、高い物は売れなかった。
		衣料品専門店(従業員)	・ 商品の低価格化に伴い、客の購入単価が相変わらず低く、購入客数も増加しない。
		乗用車販売店(従業員)	・ 高額車種の販売が依然として低迷しており、売上単価が上昇しない。
		一般レストラン(経営者)	・ 客数は増加せず、客単価も上昇しない。
		都市型ホテル(スタッフ)	・ 客の話から、景気が特に上向いているとは感じられない。
		ゴルフ場(支配人)	・ ゴルフ場の予約状況が相変わらず悪く、割引をしてほしいとの話が多い。 ・ 客単価が依然低く、状況は全く変わっていない。
		競馬場(職員)	・ 7月の売上の対前年比は88%であり、ほぼ同じ水準で変わっていない。
		その他レジャー施設[アミューズメント](職員)	・ 来場客数には増加の兆しがみられるが、客の消費態度は相変わらず厳しく、客単価の上昇につながっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		旅行代理店（従業員）	・申込件数、問い合わせ件数は非常に多いが、消費者の購買力は低下してきて、受注は減少している。ただし、夏休みの時期であるので、受注は一時的にかなり良い。
		タクシー運転手	・長野ではそごう等の大型店閉鎖で人通りが少なくなり、商店街は大きな打撃を受けているが、その影響でタクシー業界も厳しい。
		その他サービス[フィットネスクラブ]（支配人）	・来館数は横ばいであり、客の消費動向が上向いているようには見受けられない。
	やや悪くなっている	百貨店（広報担当）	・売上は衣料品を中心に前年実績を下回っている。
		自動車備品販売店（経営者）	・車両販売等が若干低迷している。 ・身近なところで企業倒産がみられ、財布のひもがきつくなっている。
		高級レストラン（支配人）	・食堂部門は売上、利用客数が若干減少し、単価も若干低下している。 ・宴会部門の受注も低迷している。
		スナック（経営者）	・新規の客が減少し、常連客も少ない。
		ゴルフ練習場（従業員）	・客の状況や客との会話では、景気は悪い方向に向かっている。
		その他サービス[語学学校]（営業担当）	・入学者数、問い合わせ件数いずれもかなり少ない。
	悪くなっている	商店街（代表者）	・暑くなっても、雨が降っても人出が良くない。街中の人通りがなく、寂しくなっている。 ・客は特価品以外の商品を購入しないという状況が続いている。
スナック（経営者）		・ボーナスシーズンの時期に、団体客が少なくなっている。	
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	その他企業[情報サービス]（従業員）	・サミットでいくつかの受注があり、景気はやや良くなっている。
		その他企業[情報サービス]（従業員）	・安定した受注はあるが、人手不足で対応しきれない状態が続いている。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・年初から贈答用の商品を買う客がなく、中元シーズンでも同様の状況が続いている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・売上は4月と比べても、例年と比べても変化がない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・夏休みが終わらないと業況は良くなるらない。 ・町工場の中では、廃業、倒産という話が多い。
		その他製造業[プラスチック製品]（経営者）	・受注量が変化していない。
		非製造業[廃棄物処理]（経営者）	・注文数等に顕著な変化がみられない。
		広告代理店（従業員）	・毎月の決まった仕事以外に新規の受注はなく、変わらない。
		税理士	・中小企業の納品価格は随分たたかかれていたが、少しずつ戻しているようである。 ・事務所から駅までの道で、店舗の撤退、吸収合併が相次いでいる。
やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	・求人数が増加している。
	やや良くなっている		
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・業種によっては季節的に雇用を増やしている企業が見受けられるが、全体的に大きな変化はない。 ・好調な企業と今後もリストラをしていく企業の二極化が見受けられる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	やや悪くなっている	新聞社 [求人広告] (営業担当)	・この2、3か月の間に倒産する企業が相次ぎ、関連企業を含めると今後相当の影響が予想される。 ・例年、売上が増加する時期であるのに、今年は横ばい状態であり、どのようにして売上を増やすのか、全く先がみえない企業が多い。
	悪くなっている	人材派遣会社 (社員)	・そごう倒産の影響で、出店していたメーカーが倒産し、販売員が解雇されている。

東海

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	スーパー (店長)	・早い夏の到来で水物、夏果物、バーベキュー材料などの季節商材が順調に動き、全体の売上を押し上げている。 ・雪印問題については、客の消費動向に影響はなかった。
		スーパー (店長)	・ボーナスもあり高額品の時計などが動いたため、徐々に良くなっている。
		コンビニ (エリア担当)	・人気ゲームソフトの発売があり、売上が大きく伸びてきている。
		コンビニ (店長)	・猛暑により、今年に入って初めてビールの売上が前年を少し上回り、売上の減少がやや小さくなっている。
		乗用車販売店 (従業員)	・相変わらず利益率は悪いが、売上は確実に増加している。
		乗用車販売店 (従業員)	・商品次第ではあるが、チラシなどで宣伝すると即決する客が増加している。
		高級レストラン (スタッフ)	・家族での来客が好調であり、遅い時間の来客数も増加している。
		一般レストラン (スタッフ)	・顧客のメインである大手企業各社のボーナスが出たため、来客数が増加している。
		スナック (経営者)	・4、5月の売上は少し伸び悩んだが、6、7月は売上が増加している。
		都市型ホテル (スタッフ)	・名古屋駅ビルのホテル開業後市場が大きくなり、やや良くなっている。
		旅行代理店 (従業員)	・見積、国内旅行の依頼が増加している。
		変わらない	一般小売店 [生花] (経営者)
	スーパー (店長)		・客数、客単価とも、食料品はやや増加傾向だが、衣料品は減少傾向で、トータルすると変化がない。
	コンビニ (エリア担当)		・天候、ゲームソフトの大作の影響で好調だが、本格的な景気回復かどうかは判断しかねる。
	コンビニ (店長)		・猛暑により飲料水やアイスクリームがよく売れているが、本来的に消費が増加しているとは判断できない。
	コンビニ (店長)		・7月の前半は熱帯夜が1週間くらい続き売上は増加したが、後半は元に戻っている。
	乗用車販売店 (従業員)		・良くなっている状態が変わっていない。
	テーマパーク (職員)		・相変わらず節約型が多く、客単価が伸びない。
	テーマパーク (職員)		・夏休み中の宿泊施設の予約が間際化しているのに加えて、低価格の部屋から埋まっている状況で、客が消費に厳しい状況は変わらない。
旅行代理店 (従業員)	・そごうの倒産やゼネコンの信用不安もあり、旅行業界も個人、団体ともに低価格志向が続き、厳しい状態にある。		
タクシー運転手	・相変わらず夜の繁華街のタクシーは空車が多く、ホテル客も1時間に1人程度で、なかなか客が拾えない状況が続いている。		
やや悪くなっている	一般小売店 (経営者)	・そごう問題が世の中に不安な気持ちをあおっており、好転しかけた景気に水をかけ、消費意欲を減退させている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		百貨店（販売促進担当）	・暑い日が多いため、来客数が減少している。
		百貨店（販売促進担当）	・夏物クリアランスが全体的に盛り上がり欠けている。 ・夏休みに入ったが、子供の来客数も大きく減少している。
		スーパー（店長）	・ギフトは店頭では良い数字だが、外商、法人関係が対前年比60%とかなり落ちている。
		家電量販店（店員）	・ボーナスが出て需要期であるにもかかわらず、売上が伸びない。
		テーマパーク（職員）	・天候により、団体利用率が対前年同期比で70%と低下している。
		ゴルフ場（経営者）	・愛知県のゴルフ場は全体的に、来場者数が毎月減少している。
		美容室（経営者）	・暑さにより、客の出足が悪くなっている。
	悪くなっている	商店街（代表者）	・著しく稼働率が低下し、来客数も著しく減少している。
企業動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	輸送業（エリア担当）	・7月中旬以降、荷動きが非常に活発になってきている。
	変わらない	輸送業（エリア担当）	・季節の影響もあるが、飲料缶が非常に多く動いている。
		広告代理店（従業員）	・折込広告は思ったほど増加せず、景気動向についてまちまちの感想を持つ広告主がほとんどである。
	悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている	求人情報誌制作会社（編集者）	・金融を除くすべての業種で扱い件数が増加し、景気回復が全業界に広がっている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・派遣の依頼数が業種全般に渡り、増加傾向がみられる。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・求人広告の申込が増加し、特にアルバイトやパートは好調で、雑誌、新聞とも前年比150%である。 ・ここ1年ストップしていた輸送機器メーカーの期間従業員の募集や人材派遣会社の求人も活発になっている。 ・昨年手控えていた新卒採用を再開する企業の数も、前年比165%である。
	変わらない	アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車関連は絶好調だが、他の業種が下降気味になっており、自動車関連が他業種の雇用を吸収している状態である。
		求人情報誌制作会社（編集者）	・営業職、IT関連職、オープニングスタッフの求人が多く、中小企業を中心に動きがあるが、総合的には変化がなく、プラス・マイナスゼロとなっている。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

近畿

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	スーパー（経理担当）	・猛暑の影響で水物が売れている。 ・乳製品の社会不安の影響により、プライベート・ブランドに動きがみられる。
		コンビニ（エリア担当）	・既存店の1日当たりの平均販売額は3か月前には前年割れだったが、今月は前年を上回っている。
		コンビニ（店長）	・ボーナスの支給によるものと考えられるが、最近1万円札の使用が多くみられる。 ・猛暑の影響で、アイスクリーム、ビール等の衝動買いが多い。
	家電量販店（店員）	・期待の新製品が一部発売され、売上が増加している。	
	その他専門店[薬]（経営者）	・猛暑の影響により、水周りの商品がよく動いている。 ・買上点数が以前と比べ1点から2点ほど増加している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		乗用車販売店（営業担当）	・当方の仕掛けにより客が相当動き、月の後半から月末まで受注が続いた。
		一般レストラン（スタッフ）	・来客数、客単価とも前年を上回り、既存店売上の前年比が回復傾向をみせ始めている。7月の猛暑が大きく影響している。
		一般レストラン（スタッフ）	・7月の後半に入り若干客の動きが活発になってきた。
		観光型旅館（経営者）	・客単価がやや上向いている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・個人客に動きがみられる。
		観光名所（経理担当）	・売上の対前年比が徐々に良くなってきている。
		旅行代理店（営業担当）	・近場の海外に加え、国内、家族の旅行申込が増加している。
		旅行代理店（営業担当）	・客の出が活発になっており、前年と比べても予約数が増加している。
		タクシー運転手	・客との車内での会話で、多少動きが出てきたということ聞く。
		住宅販売会社（営業担当）	・最近では、価格よりも質を重視する客が多い。
		その他住宅[展示場]（従業員）	・減税効果もあると思うが、来場者数が増加している。
変わらない		商店街（代表者）	・バーゲンセールも中心部のほとんどの商店街で前年割れが続いている。 ・依然として単品志向が強く、客単価が上昇しない。
		百貨店（売場主任）	・安い物を安い時期に買う以外に客が集まらない状況が続いている。
		百貨店（売場主任）	・バーゲン時期が早まり、月前半は好調であったが、後半に息切れした。 ・全社的に前年割れの状態が続いている。
		スーパー（経理担当）	・売上が前年を下回る傾向が改善されていない。
		スーパー（経理担当）	・売上があまり変わらない。
		家電量販店（経理担当）	・既存店ベースの売上がほとんど変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・売上があまり変わっていない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会件数、食堂の利用人数、宿泊人数ともあまり変化がない。
		タクシー運転手	・売上は3か月前の悪い状態に戻った。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	・客から、暇である、先月よりひどいという話を聞く。
		百貨店（売場主任）	・好調な動きを示していた婦人服が苦戦しており、また紳士服は今まで以上に低迷している。
		衣料品専門店（店員）	・そごうの倒産などで先行きに不安感が出てきているためか、当店においては春から順調に伸びてきた紳士服の売上が、今月は伸び悩んでいる。
		テーマパーク（職員）	・来場者数が減少傾向にあり、客の消費単価も低下気味である。
悪くなっている		商店街（代表者）	・暑いため、人通りが全くなく、売上がない。
		商店街（代表者）	・多少でもボーナスによる需要の拡大に期待していたが、全く期待はずれであった。
		百貨店（売場主任）	・店頭の小売状況が悪く、低単価になっている。
		コンビニ（経営者）	・そごうや長崎屋の大口倒産により、買い控えの状況にある。
		インテリア専門店（経営者）	・雪印、そごう問題による消費者の不安心理から、7月に入り消費が冷え込んでいる。
		その他専門店[宝石]（経営者）	・客数、客単価とも落ち込んでいる。広告宣伝、チラシ、新聞広告等に対する反応も悪化している。
		自動車備品販売店（営業担当）	・日本橋商店街の平日の人通りが一段と少ない。 ・中小企業のボーナスは低調だったとのことである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		競輪場（職員）	・近年になく厳しい状況にある。入場者数、購入単価、発売額とも、連日最低記録を更新し、事業存続の危機にある。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	・受注量が増加している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・最近日は曜、祭日にも社員が出勤するほど忙しくなっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・IT分野に関連している設備メーカーは徐々に忙しくなってきた。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込広告の数が増加している。
		経営コンサルタント	・受注件数が引き続き上向いている。
		その他企業〔ネジ〕（団体役員）	・出荷数量が10%台で伸びており、出荷額は1%台で増加している。
	変わらない	一般機械器具製造業（経営者）	・IT関連等は設備投資が始まっているというが、建築物件も含めて現状の出荷量は多くない。ただし、来年以降の物件として、大きなプロジェクトが具体化してきている。
		非製造業〔繊維品卸売〕	・小売業における信用不安や輸入品の影響による単価の下落により、悪い状態が続いている。
		広告代理店（営業担当）	・冬から春にかけてみられた景気の上向き感が、やや伸び悩んでいる。
		広告代理店（従業員）	・受注量は必要最小限という感じであり、大きく増加しない。
	やや悪くなっている	輸送業（営業所長）	・扱い個数が落ち込んでいる。
		その他企業〔自転車製造卸〕（団体職員）	・平均単価が低下しており、高付加価値、高級品の売行きが止まってきているので、収益が悪化する一方である。
		悪くなっている	繊維工業（経営者）
	悪くなっている	繊維工業（経営者）	・そごうの民事再生法の適用による不安が再度、各問屋に影響を及ぼしているようで、買い控えが更に進んでいる。
その他企業〔タオル〕（団体職員）		・受注量、出荷量がますます減少している。	
悪くなっている		その他企業〔タオル〕（団体職員）	・受注量、出荷量がますます減少している。
雇用 関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	・新規の受注が非常に増加する一方、若年層のスタッフの登録が減少しており、需要に対し供給が賸えないほど好況になってきている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	・IT関連、通信、金融などの業界で需要が拡大している。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・受注件数が変わらない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	・そごう問題を含め非常に不安定な状況が続いている。
		アウトソーシング企業（経理担当）	・例年、主要得意先である物流関係の会社で需要増が見込まれるが、今年はあまり増加がみられない。
	悪くなっている	-	-

九州

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・ボーナスが出たので、客単価が多少上昇している。
		コンビニ（店長）	・数字で見ると前年比も前月比も増加している。
		インテリア専門店（従業員）	・先月に引き続き、売上が前年比で伸びている。
		家電量販店（店長）	・季節商品の動きが良く、7月だけをみても前年を上回っている。
		テーマパーク（職員）	・宿泊の予約状況が昨年を上回っており、良い感触である。
ゴルフ場（従業員）		・毎年夏場は客が減少するが、今年は増加しているようである。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		パチンコ店(従業員)	・ボーナスが出たため、個人単価が上昇した。 ・サミットの影響で遠出を控えた人で店にはぎわった。
		旅行代理店(従業員)	・個人旅行が好調だが、出発間際に申し込む、安近短の傾向がある。
		タクシー運転手	・猛暑の影響で短距離ではあるが、乗車数は増加した。
		タクシー運転手	・わずかではあるが、夜の繁華街が活気付いてきており、同時にタクシーの乗車率も良くなってきている。
		住宅販売会社(従業員)	・ローン減税が影響し、公庫の申込が多かった。
	変わらない	商店街(代表者)	・通販は良いが店頭売りは変わらず、全体的に大きな変化はない。
		一般小売店[鮮魚](従業員)	・店頭で客と接していて、あまり変化がないように感じる。
		百貨店(販売促進担当)	・ギフトをとっても単価は低く、個数も少なく、個人消費の伸びは今一つ変化がみられない。
		スーパー(店長)	・客数は増加したが単価が低く、特に生鮮食品が悪い。
		コンビニ(エリア担当)	・客数も増加しないし、客単価も依然低迷したままである。
		家電量販店(店員)	・猛暑の影響でエアコンが売れるが、一緒に他の物も購入しようとはしない。
		スナック(店長)	・7月は地元のあちこちの神社で祭があり、人々が夜遅くまで出かけるので客足が伸びない。
		都市型ホテル(スタッフ)	・サミット効果を期待したが、客が自粛して少なかった。
		パチンコ店(従業員)	・7月はボーナス時期にもかかわらず、予想に反して良くなかった。
		タクシー運転手	・サミットのときに少しにぎわったくらいで、全然変わっていない。
		住宅販売会社(従業員)	・売上も来場者数も変わらない。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	・消費行動が活発になる時期なのに、一向に良くならない。
		百貨店(営業担当)	・入店者が減少し、売上単価も低下し、店頭の売上は厳しい。
		スーパー(店長)	・景気低迷の影響の少ない子供服の売上まで減少気味であり、価格が徹底的に安くないと品数が動かない状況。
		スーパー(店長)	・ボーナスカットの話も聞こえ、消費も低迷している。
悪くなっている	高級レストラン(スタッフ)	・連休明けから客が少なく、売上が15%程悪くなった。	
企業動向関連	良くなっている	精密機械器具製造業(経営者)	・現在追加注文に応じきれず、断っている状態である。
	やや良くなっている	電気機械器具製造業(経営者)	・季節商品に支えられた売上がある。
		輸送業(従業員)	・建材関係の受注が増加してきている。
	変わらない	電気機械器具製造業(経営者)	・半導体関連の動きに波があり、このまま良くなったり、悪くなったりで推移する様子である。
		輸送業[倉庫](従業員)	・お中元も期待外れでメーカーは物流業者に在庫を買ってもらっているのが実状である。
		輸送業[陸上貨物](従業員)	・配達1件当たりの単価は若干上昇しているものの、受注件数の落ち込みが激しく、全体の売上が減少している。
	やや悪くなっている	農林水産業(経営者)	・加工品の素材原料などは輸入品との競争で厳しい現状にあり、思ったより伸び悩んでいる。
		電気機械器具製造業(経営者)	・新規の受注が減少してきている。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	・地域で大型倒産が2件続き、かなり影響を受けている。
	悪くなっている	-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・ 3か月前に比べ売上が20%増加した。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・ 求人倍率は厳しいが、営業職やIT関連の中途採用は微増ながら良くなってきている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・ 売上は悪くはないが、企業内自己啓発のセミナー、受講生が減少してきている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・ IT関係の企業は派遣社員、パート等多く募集しているが、企業の正社員の募集は少なく、まだ安定した雇用状態にはなっていない。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

(1) 全国の動向

分野別の景気の先行き判断D I

図表2-1-1 各分野における景気の先行き判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	2月	3月	4月	5月	6月	7月
合計	54.6	54.9	55.5	54.2	54.8	51.3
家計動向関連	53.2	53.8	53.5	52.7	53.5	49.3
小売関連	52.7	53.3	53.1	49.2	51.8	46.3
飲食関連	53.1	52.6	52.2	56.7	54.5	47.6
サービス関連	54.0	54.9	53.9	55.7	55.0	53.3
企業動向関連	55.8	53.8	58.5	56.5	57.1	54.4
雇用関連	62.8	67.2	66.1	61.7	60.4	61.1

(2) 各地域の動向

地域別の景気の先行き判断D I（各分野計）

図表2-2-1 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表（各分野計）

(D I)	平成12年					
	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全国	54.6	54.9	55.5	54.2	54.8	51.3
北海道	53.5	52.0	46.0	50.0	55.5	50.5
東北	56.0	54.6	57.2	54.6	52.1	49.5
関東	53.5	52.5	57.2	55.4	53.2	52.2
東海	54.1	60.3	59.7	58.6	57.9	53.0
近畿	54.7	54.4	57.5	54.2	57.1	50.8
九州	55.5	55.3	55.6	52.7	52.9	51.6

地域別の景気の先行き判断D I（家計動向関連）

図表2-2-2 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表（家計動向関連）

(D I)	平成12年					
	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全国	53.2	53.8	53.5	52.7	53.5	49.3
北海道	51.1	50.0	42.7	48.3	54.9	48.9
東北	53.4	53.5	54.6	51.8	49.6	46.3
関東	51.1	50.8	57.2	54.5	51.9	50.4
東海	53.5	59.2	56.6	57.3	57.3	50.0
近畿	53.8	54.2	56.7	53.1	54.1	48.4
九州	56.5	54.5	53.4	51.5	52.9	51.5

(3) 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

北海道

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般小売店〔土産〕(店員)	・8月から10月にかけて北海道観光が回復すると考えられており、特に団体客が増加すれば、空港内の土産店や飲食店の売上も増加する。
		家電量販店(店長)	・これから放送されるBSデジタル放送関連商品、季節商品が前年から比べると大きく伸びている。
		家電量販店(店員)	・9月にオリンピックがあるため、家電業界はテレビ、BSチューナー等の売上が増加する。
		乗用車販売店(従業員)	・客の動きが活発になってきている。
		高級レストラン(スタッフ)	・観光客は例年と比べて入込が今一つ少ないが、現在より悪くなる要素はない。
		一般レストラン(スタッフ)	・従業員を募集しても、なかなか集まらなくなっており、雇用が増えていると考えられる。
	変わらない	商店街(代表者)	・北海道では有珠山の次は雪印問題で、購買意欲の落ち込みに歯止めが利かない。
		百貨店(売場主任)	・これといった好材料もなく、現時点では景気はさほど良くならない。
		スーパー(店長)	・民間ボーナスのダウン、中元商戦の不振からみても、客の低価格志向は変わらず、景気の回復は望めない。
		コンビニ(エリア担当)	・公共事業は活発になっているが、イベント、キャンペーンを実施したときの来客具合が悪くなっており、客の購買意欲が衰退している。
		衣料品専門店(店長)	・各会社のボーナスも悪いようであり、ここ2、3か月では、景気が悪くはなっても良くはならない。
		家電量販店(店長)	・単価の低下がまだまだ続くとみられ、良くなる要因がない。
		乗用車販売店(従業員)	・新型車の登場で一端の期待感はあるが、ユーザーの好み分散されているので大きく動くことはない。
		高級レストラン(スタッフ)	・宿泊客に関しては増加が見込まれるが、レストランや宴会は低迷しており、全体的には変わらない。
		高級レストラン(スタッフ)	・やや良い状態である今月の景気が、9月いっぱいまでは続きそうである。
		スナック(経営者)	・旭川では7、8月は観光客が入ってくるが、それ以降は暇な状況が続くので、将来的には良くない。
		旅行代理店(従業員)	・天候や出来事で景気がすぐ左右されるので、先は分からない。
		タクシー運転手	・地場における沈滞ムードに改善の兆しがみえない。
		タクシー運転手	・乗車中の客と話す、8割方は景気が良くないと言っており、そう簡単には景気は良くならない。
		美容室(経営者)	・客の話題の中で、良い話も出てこないが、悪い話も出てこない。
		やや悪くなっている	百貨店(売場主任)
	スーパー(企画担当)		・雪印問題は、客の乳製品離れを誘発し始めており、中元や店頭での乳製品の売上が減少している。
	コンビニ(エリア担当)		・特売商品の反応が良いが、客の財布のひもが堅く、売上状況からみて、客単価が上昇しない。
	家電量販店(店長)		・雪印問題の影響がある。
	その他飲食〔酒卸〕(店長)		・今のところは良い方向で推移しているが、北海道は不安要素が多いので、秋口からは不安定になる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		パチンコ店（従業員）	・午前中の人通りが少なくなり、夕方は早く客が帰る傾向にある。
	悪くなっている	住宅販売会社（従業員）	・住宅業界は先行き見通しが悪い。マンションはまあまあだが、一戸建てが悪い。
企業動向関連	良くなっている	非製造業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・これからは、益明け以降、本年度の工事が順調に着工されていく。上川の談合問題も一応の決着が付く。
	やや良くなっている	食料品製造業（団体役員）	・長引く景気低迷の底打ち感が感じられ、当地の水産加工業界も製品需要が増加し、良くなっていく。
		輸送業（総務担当）	・農作物が順調に生育しているので、収穫が良い方向に向かっていくと期待している。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・今月の景気がやや良くなったとはいえ、土産物など夏物商品の動きに不安が残る。
		非製造業〔建設機械リース〕（従業員）	・ここ数か月ほとんど設備も変わっておらず、2、3か月で変わるようには考えられない。
	やや悪くなっている	その他製造業〔印刷〕（経営者）	・雪印の問題の影響は非常に大きく、当社にも影響がある。
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・春先から夏にかけてと同じような求人数の伸びだったので、これから先、急に下がるとは考えられない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・建設業を含め、全業種にわたって求人件数の動きが活発であり、懸念される業種もないことから、今後も雇用状況は良くなっていく。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・これから2、3か月は、旭川地区の談合問題も終わり、建設関連の仕事が増えてくる。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・2、3か月先の受注は来ていない。取引先企業の話からも、景気が上向きになるような要素は聞こえてこない。
		人材派遣会社（社員）	・マスコミ報道で、そごうや、金融などの風評に少し戸惑っていて、次の手を打つ様子が経営陣にみられない。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・通信や遊技場の大型広告は増加しているが、その他の業界に変化はなく、良くなる要素が周りに見当たらない。
	悪くなっている	-	-

東北

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	タクシー運転手	・市街地やデパート等では、人が多くいるように見える。
	やや良くなっている	観光型ホテル（スタッフ）	・予約状況がやや良くなっている。
		タクシー運転手	・今月の様子から、やや良くなると期待できる。
		美容室（経営者）	・家を建てる人が増えていると客が話している。
		設計事務所（職員）	・取引先の話では、売上や雇用などが少しずつ上向いている。
	変わらない	商店街（代表者）	・良くなる理由が見当たらない。
		百貨店（売場主任）	・百貨店で取扱う商品全般にわたって、大きく改善する要因が見当たらない。
		百貨店（広報担当）	・月々の売上のばらつきが大きい。 ・同業大手の破たんも影響すると考える。
		百貨店（企画担当）	・そごうの破たんや雪印の操業停止など、消費に対する買い控えに拍車がかかる懸念がある。
		スーパー（企画担当）	・ホームセンターやドラッグストアなど、競合店が相次いで出店し、競争が激しくなっている。 ・テレビの影響で、ミニヒット商品なども店内に置いているが、売上の改善にはつながらない。
スーパー（店長）		・この半年間、客単価の低下傾向に変化がない。 ・今後の景気回復は、8月のお盆商戦にかかっている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（店長）	・20～40代を中心として、ビジネスマンは、スーツの購入に慎重になっており、所得が増えない限り売上の増加は期待できない。
		衣料品専門店（経営者）	・客は、夏物は必要な物しか購入せず、秋物も同様と考える。
		高級レストラン（スタッフ）	・深夜層を中心に、客数が若干増えている。
		高級レストラン（経営者）	・ここ2、3か月は、急激に変化することはない。
		高級レストラン（スタッフ）	・そごう問題や株価低下の影響で、ここ2、3か月で法人需要が回復するとは考えられず、個人消費に対する心理的影響も大きい。
		一般レストラン（経営者）	・月に2、3回来店していた常連客が、月1回しか来なくなっている。 ・客単価が低下している。
		観光型ホテル（経営者）	・3か月先の予約は、昨年より増えているが、団体客が落ち込んでいる。
		テーマパーク（職員）	・入場者数は増えているが、館内利用が増えていない。
		旅行代理店（従業員）	・法人需要の一部に明るさがみられるが、受注状況は変わっていない。
		タクシー運転手	・観光客が増えるとは思えず、変わらない。
	やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	・法人を中心に、中元の受注が落ち込んでいる。
		百貨店（売場主任）	・中元の売上が非常に悪い。
		その他飲食[和食]（経営者）	・店の近辺では空き事務所が目立ってきている。 ・2、3か月前は景気の上向きが感じられたが、今月に入りそうした兆しがなくなっている。
		観光型ホテル（経営者）	・3か月先の予約状況が、昨年に比べて非常に悪くなっている。
都市型ホテル（スタッフ）		・婚礼や宴会の申込が減少している。	
悪くなっている	スーパー（経営者）	・売上が、前年に比べて4～5%落ち込んでいる。	
	スーパー（企画担当）	・同業の新規出店で競争が激化し、利益の減少が続いている。 ・雪印問題やそごう問題などにより、消費者のマインドは持ち上がらず、更に悪化すると考える。	
	スナック（経営者）	・客の会話から良い話を聞かない。	
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	輸送業[航空貨物]（従業員）	・貨物取扱量の伸びが期待できる。
		輸送業（経営者）	・IT関連で、紙関係の需要が期待できる。
	変わらない	食料品製造業（従業員）	・雪印、そごうの影響が考えられる。
		食料品製造業（経営者）	・水産業は秋に向かって忙しくなるが、原料が高く、製品の価格も安いいため、景気の改善は期待できない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・直近の引き合いが多く出てきているが、取引先を回っても具体的な受注につながらない。
		会計事務所（所長）	・株安等の影響で、企業心理が足踏み状態になることが懸念される。
	やや悪くなっている		
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・設備投資を進めるメーカーを中心に、前向きな話が増えている。
		人材派遣会社（社員）	・企業によってはリストラも終わり、人員計画などで良い兆しが出ている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・正社員の代替として派遣社員の需要が高くなっているが、全体として雇用が増えているわけではない。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

関東

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	コンビニ（店長）	・現在の好調な売上から判断すれば、やや良くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	・決算期と新型車発表の時期が重なり、購買意欲が高まる。
		一般レストラン（支配人）	・9月、10月における提携している旅行会社等との予約状況が良いので、業況は上向きになる。
		旅行代理店（従業員）	・9～11月の旅行の見積件数が多くなっている。
		旅行代理店（従業員）	・8～10月の受注状況は今年より良い。ただし、昨年と比較すると、それほど良くなってはいない。
		その他サービス[語学学校]（営業担当）	・英会話や資格取得希望者は増加しているため、夏休み終了後に勉強を始める人が出てくると期待している。
		その他サービス[学習塾]（経営者）	・夏季講習受講者の一定割合がその後も塾に残るので、少し良くなる。
	住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン減税の期限が来年6月と迫っているため、秋頃、あるいは2、3か月先から客足は良くなる。	
	変わらない	一般小売店[精肉]（従業員）	・客数と客単価が低迷したままで、先の景気はあまり変わらない。
		百貨店（販売促進担当）	・中元ギフトの売上はこの数年間前年割れであったが、前年を上回ったのは好材料であり、このままの状態が続く。
		百貨店（買付担当）	・品質やデザイン性が高く、しかも低価格の商品が売れる傾向は1年ほど前から継続しており、これからも続く。この秋以降、低価格商品の展開は拡大する。 ・一品単価、客単価が低下しているため、販売点数、客数は増加しても売上が増加しないという傾向は変わらない。
		スーパー（統括）	・夏物のギフトが非常に良い傾向で動いている。秋物、特に衣料品は、現状の売上水準で推移すると、少し回復してくる。現状とほぼ同様な上昇傾向はこの2、3か月続く。
		スーパー（店長）	・夏物衣料に対する客の消費態度をみると、客は必要な物以外購入しない。 ・ボーナスの伸びは期待できないため、冬も購買意欲が弱く、現在と同様の悪い状態が続く。
		コンビニ（店長）	・7月は猛暑が続いているため、消費意欲は高まっているが、3か月後には、それほど景気は良くならない。
衣料品専門店（従業員）		・利用客の購買行動に変化はない。	
乗用車販売店（従業員）		・ボーナスシーズンに入り、売上の増加を期待しているが、先行き不安から依然横ばい状態が続く。	
一般レストラン（経営者）	・消費者は飲食よりも個人旅行にお金を使う傾向にある。		
一般レストラン（経営者）	・3月、4月の2か月間は景気が良くなり、そのまま上昇するかと思われたが、その後の業況は悪くなっている。この傾向は、これから先も変わらない。 ・今年度と前年度の売上を比べても、マイナスの月が4か月もある。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スナック（経営者）	・長野市内では、そごう等の撤退により核となる店舗が減少するため、客の出が悪くならないか心配している。 ・客層としては会社勤めの人が多く、買物客相手の商売ではないので楽観視しているが、街全体の人出が少なくなるのは非常に厳しい。
		スナック（経営者）	・売上、客数が増加しない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・長野市の街の中心部では、そごう等の既存店が閉鎖する一方で、店舗は郊外に展開しており、全体的な景況は変わらない。
		競馬場（職員）	・過去3か月の売上は増減を繰り返しており、今後も同様に推移する。
		タクシー運転手	・売上、客数は変わらず、利用客増加の見通しが立たない。
		その他サービス[フィットネスクラブ]（支配人）	・来館数は横ばいである。
	やや悪くなっている	スーパー（店長）	・食品業界の不祥事等に対して、客が非常に敏感になっている。
		ゴルフ練習場（従業員）	・そごう問題や不良債権の処理で、今後ますます問題が出てくる。
		旅行代理店（従業員）	・現在は夏場の需要期で、一時的に景気が上向いている。2、3か月先にはまた元の状態に戻り、結果的に現在よりも悪くなる。
		美容室（経営者）	・市街地のスーパーやデパートの閉店、企業のリストラ等で雇用不安があるため、全般に売行きは悪くなる。
悪くなっている	スナック（経営者）	・これまでは週末に比較的人通りがあったが、最近は静かで活気が感じられない。	
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・9月の受注がかなりあるので、業況は秋口から力強く回復する。
		電気機械器具製造業（経営者）	・引き合いの単位が大きくなっている。
		広告代理店（従業員）	・小売業の取引先では、来店客が多くなっており、全体的には少しずつ活気が出てきている。
	変わらない	その他企業[情報サービス]（従業員）	・IT関連の引き合いは引き続き好調で、今後2、3か月も右肩上がりの好景気が続く。
		その他製造業[金属製品]（総務担当）	・受注状況は横ばいである。
		非製造業[廃棄物処理]（経営者）	・市場の先行きが非常に不透明である。 ・相変わらずコスト削減の動きが根強い。
		広告代理店（従業員）	・この2、3か月、景気が上昇するような情報はない。
		輸送業（統括）	・売上は減少していないが、少しずつ伸びていたものの伸びが若干止まった。
	税理士	・街中には、新陳代謝で違うものが生まれてくるような、若干上向きの雰囲気を感じられる。	
やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・人材派遣会社人が人を募集しても、応募がほとんどないので、仕事を探している人にとって、非常に多くの仕事があるということである。
		求人情報誌制作会社（営業担当）	・新装開店などをする店が多く、景気はやや良くなっている。
変わらない	新聞社[求人広告]（営業担当）	・例年は9月から10月にかけて求人が活発になるが、今年は工場閉鎖や業務縮小の声があちこちで聞かれており、予想がつかない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪く なっている	人材派遣会社（社員）	・百貨店が低迷している影響で、今後の見通しが立たない。
	悪くなっている	-	-

東海

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	スーパー（店長）	・天候が良く気温が高めに推移しているため、盛夏物商材が順調に売れると予想され、このまま消費が伸びていく。
		スーパー（店長）	・猛暑が終われば食欲も増加して、購買意欲に変化がみられる。
		乗用車販売店（従業員）	・新商品の投入が続く。
		観光型ホテル（スタッフ）	・3か月先の予約状況は、宿泊、宴会客ともに3～5%良い状況で推移している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・個人予約の回復が会社利用を活性化させ、市場がやや良くなっていくと期待できる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約がやや増えており、企業での利用も見込まれる。
		旅行代理店（従業員）	・海外への視察、特にIT、IT S、見本市関連などの企画依頼が増加しており、IT関連を含めた業種で景気が良くなる。
	変わらない	百貨店（販売促進担当）	・婦人服の売上が苦戦しており、特にヤング層の買物の状況が厳しくなっている。
		スーパー（店長）	・ unnecessaryな物は買わず必要な物にはお金を使うという傾向は、今後も続く。
		コンビニ（エリア担当）	・ゲームソフトのように高くても欲しい物以外は、買い控えが続く。
		コンビニ（エリア担当）	・客単価は上昇しない。
		コンビニ（エリア担当）	・食品、生活必需品以外はほとんど動くことがなく、引き続き厳しい状況が続く。
		家電量販店（店員）	・給料は据置きというところが多く、ボーナスも良くないので、消費はあまり変わらない。
		その他専門店[玩具]（店員）	・魅力的な商品がさほどなく、客が商品を求めて買いに来るという要素が少ない。
		その他専門店[雑貨]（店員）	・物に対する購買意欲は落ち込んでいるが、2000円札や新500円硬貨を使いたいという欲求はあるように思えるため、総合的には変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	・客の話題では、景気が良くなるかと思えば悪くなるような内容が多い。
		乗用車販売店（従業員）	・需要期にもかかわらず、売行きがそれほど良くはない。
		一般レストラン（スタッフ）	・客単価が上昇せず、売出しのときだけ人が集まるという状態が続いている。
		スナック（経営者）	・売上は増加傾向だが、客との会話で明るい話題が減ってきている。
テーマパーク（職員）		・弁当を持ち込むなど、節約型の家計が増える傾向に変化はない。	
テーマパーク（職員）	・買物袋を下げてくる客が本当に少なく、必要な物だけを自分のために買うという傾向が今後も続く。		
テーマパーク（職員）	・全体では上向いている可能性はあるが、そごう倒産などのマイナス面の消費マインド等への影響が心配である。		
旅行代理店（従業員）	・従来は人気が高く予約が難しい場所でも、まだ残りがあり、厳しい状況が続いている。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・深夜の客が伸びてこず、3か月先も見通しが立たない。
		タクシー運転手	・愛知万博着工による波及効果にかなり期待していたが、大幅縮小のニュースで、好転の期待が持てなくなった。
		美容室（経営者）	・ボーナスはある程度出ているようだが、景気は良くない。
		設計事務所（職員）	・修理、増築は増えているが、個人の住宅はまだ発注が少ない。
	やや悪くなっている	コンビニ(店長)	・2、3か月先は気温が下がり、飲料水やアイスクリームの売上が減少するため、今より悪くなる。
		家電量販店（経営者）	・立地法が変わる直前で大型店が次々に進出し過当競争気味になり、各業界ともにしのぎを削っている状況にある。
		ゴルフ場（経営者）	・2、3か月先の予約状況は更に悪化しており、対前年比では15%ほど減少している。
悪くなっている	-	-	
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（営業担当）	・ケーブルテレビの更新に伴うリニューアル効果があり、活気付いてくる。
		輸送業（エリア担当）	・中部国際空港が着工し愛知万博も前進していることで、先々には良い見通しをもっているが、足元に変化はない。
	変わらない	輸送業（エリア担当）	・アジア向け営業貨物の増加傾向が今後も続く。
		税理士	・大・中堅企業の業績が向上しており、キャッシュフローに余裕が出てきているが、全体的には大きな変化はない。
		輸送業（エリア担当）	・見積の際、客はなるべく支払い金額や単価を下げようとしている。
	やや悪くなっている	輸送業（エリア担当）	・猛暑により荷動きは活発になってきたが、天候に左右されており、今の状態は持続しない。
会計事務所（所長）		・元気の良い会社がある一方、構造的に解決できていない建築業やメーカーの下請企業などで、まだまだ倒産が予想される。	
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・客からの依頼が増加しているため、実体として結びつく2、3か月後は上向くと予想される。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・2002年3月卒業予定者の求人計画が各社で始まっているが、自動車関連企業を始めとして、積極的に人数を増やしていくという計画が作成されつつある。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・IT関係のけん引により全般的に上向きの感じが持たれ、自動車関係の生産の伸びも期待される。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・営業とサービス関連の職種で若手や即戦力スタッフの募集が続く。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・IT関連や自動車部品メーカーに加えて、機械メーカーの求人も出てきている。 ・期間従業員中心で正社員の募集はまだ慎重な企業が多いが、良い人材があれば長期採用、正社員への登用もあるなど、雇用は確実に改善されつつある。
	変わらない	アウトソーシング企業（エリア担当）	・景気は現在で十分好調で、多少一進一退があってもピークに達している。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

近畿

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	家電量販店（店員）	・新製品がすべて出そろった時期であり、売上が増加している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スナック（経営者）	・客の話によれば、約半分が多少景気は良くなっていると言っている。 ・店の売上も多少上向いている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・遠方からの予約が多く、宴会、会議の問い合わせも増加している。
		観光名所（経理担当）	・少しずつではあるが売上の前年比が改善している。
		旅行代理店（営業担当）	・大阪でIT関連の企業から報奨旅行や社員旅行の申込が増加しており、この動きは近畿全体に広がると予想している。
		旅行代理店（営業担当）	・客の出が活発になってきている。7、8月と長期休暇を挟んで景気回復のめどが立つように思う。
		住宅販売会社（従業員）	・定価での販売は難しいが、客数は増加してきている。
	変わらない	商店街（代表者）	・年々夏のバーゲン開始が早まっているため、顧客のバーゲン疲れがあり改善されるとは思わない。
		百貨店（売場主任）	・来客数は前年を上回っているものの、買上単価の低下など厳しい状況が今後も続く予想される。
		スーパー（経理担当）	・大規模小売店の倒産による先行き不透明感と雇用不安により、消費の増加はあまり望めない。
		コンビニ（エリア担当）	・景気はやや上向いていたが、そごうの民事再生法の適用などにより、消費に少なからず影響が出るとみられる。
		乗用車販売店（営業担当）	・7月度は個人によく売れたが、法人需要が伸び悩んでいる。
		乗用車販売店（営業担当）	・客の動きが変わらない。
		一般レストラン（スタッフ）	・昨年12月から基調としては底堅いとはいえ、まだ反転との判断は行い難い。
		都市型ホテル（スタッフ）	・先の予約状況は現時点とあまり大きな変化はない。
		観光名所（経理担当）	・今月の売上は夏場としてはあまり良くなく、この先も期待が持てない。
		タクシー運転手	・先月は最悪期を脱したかもしれないと思ったが、今月は自分の売上だけでなく他のタクシーの乗務員の売上も減少している。
		美容室（店長）	・予約状況が変わらない。
		住宅販売会社（営業担当）	・客数は徐々に増加しているが、受注の金額面、コスト面はかなり厳しい状態で推移している。
	やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	・そごうなどの大企業が倒産するなど、将来不安が増大している。
		スーパー（経理担当）	・スーパー、百貨店、その他の出店が増加したため、競争が激しくなり、客の取り合いの状況が続く。
		スーパー（経理担当）	・そごう問題で流通業全般にかなり大きなダメージがある。
		衣料品専門店（店員）	・春先は期待感があったが、ここへ来て景気は本格的には回復しないのではないかと心理が買い控えにつながっている。
		家電量販店（経理担当）	・今まで好調だったパソコン等についても前年割れの店が増加している。
		その他専門店[宝石]（経営者）	・そごう問題を始めとして、消費マインドが冷えつつある。
		スナック（経営者）	・プレー費や食事のサービスをしているにもかかわらず、ゴルフ場に全く予約のない日があるという話を聞いた。
	悪くなっている	商店街（代表者）	・商店街や周辺での閉店が目立ち、再利用のめどが立たない状態である。
		コンビニ（経営者）	・大口倒産の流れで、その下の段階の会社の倒産の可能性があるので不安になり、消費行動が低迷する可能性がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		自動車備品販売店 (営業担当)	・売上が非常に減少しており、増加する見込みが立っていない。
		競輪場(職員)	・売上金、入場者数が減少している。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般機械器具製造業 (経営者)	・新規受注が入ってきている。
		その他製造業[金属製品] (経営者)	・わずかながら荷動きが出てきている。
		新聞販売店[広告] (店主)	・折込広告数が増加している。
		会計事務所(職員)	・取引先各社ともそろそろリストラが終わり、底固めに入ってきている。
		その他企業[ネジ] (団体役員)	・自動車関係、建築関係への出荷がかなり大幅に増加しており、全体でも前年を上回るようになってきている。
	変わらない	繊維工業(経営者)	・ようやく底打ち感が出てきたという話が聞こえ始めているが、まだ良い内容の話は聞こえてこないで、このまま悪い状態が続きそうである。
		広告代理店(従業員)	・大手百貨店の倒産の影響により、卸売業の広告に関連する業種が影響を受けている。
		輸送業(営業所長)	・ネットビジネス等の物流の変化はみられるが、売上はあまり変わらない。
		経営コンサルタント	・受注はやや上向き加減であるが、このまま急速に回復するとは思えない。
	やや悪くなっている	その他企業[自転車製造卸](団体職員)	・東南アジア特に中国からの輸入自転車が大幅に増加している。非常に単価の低い商品が多数輸入され、国内企業を圧迫する大きな要因となっている。
		その他企業[タオル] (団体職員)	・輸入量の急増により、国内の生産、出荷量が減少する。
	悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている	人材派遣会社(社員)	・派遣先の業容拡大及びIT関連企業の需要拡大に伴い、相当の需要が見込める。
	やや良くなっている	人材派遣会社(経営者)	・秋口以降の需要動向は拡大傾向にある。
	変わらない	人材派遣会社(経営者)	・雇用だけを見るとそれほど改善されているとは言えない。
		求人情報誌制作会社 (編集者)	・株価の下落により、先行き慎重な姿勢がみられる。
	やや悪くなっている		・引き合い件数の前年比は順調に推移しているが、まだ倒産の影響が不透明な状態が続いている。
	悪くなっている	-	-

九州

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街(代表者)	・消費全般は低迷しているが、高齢者層の購買意欲が高まってきているようである。
		インテリア専門店 (従業員)	・夏枯れという感じはあまりしない。
		一般レストラン(経営者)	・10月はイベント等をする結構集客数があるので期待している。
		観光型ホテル(スタッフ)	・秋口の団体の予約状況からみて、良くなっていく。
都市型ホテル(スタッフ)	・9、10月は学会関係が多く開かれるので、今よりは良くなるのではと期待している。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		パチンコ店(従業員)	・前年比では依然減少が続いているが、日々の売上動向をみると、今後景気は上向いてくるのではないかと思う。
		旅行代理店(従業員)	・来店者数、電話の問い合わせが増加し、秋の旅行シーズンに向けハッピーマンデーの効果が出てきている。
		住宅販売会社(従業員)	・ローン減税の駆け込みで契約が増加することが予想される。
	変わらない	商店街(代表者)	・理由は分からないが消費が鈍く、景気が良くなっていくとは思えない。
		商店街(代表者)	・9月に駅前に大型店がオープンするので、商店街には影響が大きいと思う。
		一般小売店[鮮魚](従業員)	・土用の丑の日や夏休みの帰省、また秋口に入って魚がおいしくなってくるというプラスの材料を加味しても、全体的に良くはならないと思う。
		百貨店(販売促進担当)	・客単価、一品単価の低下傾向は続き、個人消費の回復はまだ期待できない。
		百貨店(営業担当)	・そごうの件で買い控えもみられるが、元に戻ると予想する。
		スーパー(店長)	・客は、より低価格の商品を求める傾向にある。
		スーパー(店長)	・客はより新鮮で安い商品を求めて何軒も店を回っている様子であり、客数は増加しても売上増には至らない。
		コンビニ(エリア担当)	・客の購買意欲が低下したままであり、この先も期待できない。
		家電量販店(店長)	・パート募集をすると40代男性が多く、前職は倒産やリストラが多い。
		家電量販店(店員)	・客の消費が季節商品に向いているだけで、景気が良くなっているのとは違う。
		ゴルフ場(支配人)	・予約状況も悪く、土日祭日も依然少ない状態が続いている。
		タクシー運転手	・今より悪くはないが、好材料が見当たらないので期待は出来ない。
		美容室(経営者)	・客は必要最低限のこしかせず、おしゃれも控えているようである。
		住宅販売会社(従業員)	・金利低下が続くということで、状況は変わらないと思う。
	住宅販売会社(従業員)	・住宅ローンの金利上昇が心配である。	
	やや悪くなっている	百貨店(営業担当)	・株価の低迷、大型倒産、雇用不安等消費マインドが上向き材料が見当たらない。
		衣料品専門店(総務担当)	・大型店や地方のディスカウント店等は、民事再生法適用で活力がなくなった。
スナック(経営者)		・暗いニュースが多く、皆不安定な気分になっており、客の増加は期待できない。	
タクシー運転手		・深夜の乗車が依然増えず、客からも景気の良い話が聞かれないのであまり期待できない。	
悪くなっている	コンビニ(店長)	・売上は減少すると予想されるが、年間の平均値よりは上回ると予想する。	
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業(経営者)	・酒飯店の動きが良くなってきている。
		輸送用機械器具製造業(営業担当)	・受注が通常より良いので、忙しくなりそうである。
		輸送業[倉庫](従業員)	・新製品を出すまでの期間が短くなってきているので、今後期待できる。
		輸送業[陸上貨物](従業員)	・コンテナヤードの回転率を上げる試みを10月から実施することにしており、その効果を期待している。
	変わらない	一般機械器具製造業(経営者)	・倒産、廃業の水準も依然として高く、景気が良くなっているという実感はない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		電気機械器具製造業（経営者）	・半導体装置、リードフレーム関係は今の状況のままで推移する。
		広告代理店（従業員）	・折込は増えてきているが、スポンサーのディスカウント店が民事再生法で倒産したので、先行き不安である。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・新規の依頼が減少している。
	悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・新製品の立ち上げや広告などに期待したいが、現時点では良い材料はない。
輸送用機械器具製造業（経営者）		・漁船を主に造っているが、東シナ海、北部太平洋とも漁が悪いらしいので、将来の見込みは悪い。	
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・秋口の企業内研修の引き合いが出始めている。
		求人情報誌制作会社（編集者）	・これから先、土木、建築、サービス業を中心とした求人募集が増加するので、多少活気が出るのではないかと期待している。
	変わらない	求人情報誌制作会社（総務担当）	・派遣やアルバイト、中途採用が増加してきているので良くはなっているようであるが、全体的に厳しい。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・求人に対する応募者が増加したものの、広告に関しては先行き不透明である。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

(参考) 現在の景気水準に対する判断

現在の景気的水準自体に対する判断は、以下のとおりであった(注)。

図表 - 参考 - 1 各分野における景気の現状水準判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	2月	3月	4月	5月	6月	7月
合計	37.0	46.1	46.0	43.0	43.5	44.6
家計動向関連	34.9	43.6	42.7	39.1	39.7	41.5
小売関連	37.0	40.8	41.6	36.7	38.9	39.0
飲食関連	31.1	45.7	37.5	37.9	37.1	41.5
サービス関連	33.5	46.6	45.4	42.0	40.9	44.5
企業動向関連	39.1	48.5	53.4	51.5	49.4	49.6
雇用関連	50.5	60.9	57.8	56.4	62.0	58.9

図表 - 参考 - 2 各地域における景気の現状水準判断D Iの推移表(各分野計)

(D I)	平成12年					
	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全国	37.0	46.1	46.0	43.0	43.5	44.6
北海道	36.6	40.0	36.8	38.0	40.5	41.3
東北	36.5	43.6	45.4	40.1	41.4	41.0
関東	33.1	46.4	45.6	44.4	45.7	45.9
東海	41.8	52.0	48.5	49.5	48.2	47.2
近畿	33.6	41.9	47.8	41.1	39.7	43.1
九州	40.4	52.6	53.1	45.2	45.5	48.9

(注) 景気の現状をとらえるには、景気の方角性に加えて、景気的水準自体について把握することも必要と考えられることから、参考までに掲載するものである。

(別紙) 景気ウォッチャー(調査客体)の地域別 分野別構成

	北海道		東北		関東		東海	
	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%
合計	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%
家計動向関連	72	72.0%	73	73.0%	70	70.0%	73	73.0%
小売関連	36	36.0%	35	35.0%	25	25.0%	35	35.0%
商店街代表者	5	5.0%	4	4.0%	1	1.0%	1	1.0%
一般小売店経営者・店員	1	1.0%	2	2.0%	2	2.0%	5	5.0%
百貨店売場主任・担当者	5	5.0%	7	7.0%	6	6.0%	5	5.0%
スーパー店長・店員	5	5.0%	6	6.0%	5	5.0%	6	6.0%
コンビニエリア担当・店長	5	5.0%	4	4.0%	4	4.0%	6	6.0%
衣料品専門店経営者・店員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
インテリア専門店経営者・店員	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
家電量販店経営者・店員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他専門店経営者・店員	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	3	3.0%
乗用車・自動車備品販売店経営者・店員	7	7.0%	4	4.0%	3	3.0%	6	6.0%
卸売業従事者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他小売の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
飲食関連	12	12.0%	11	11.0%	13	13.0%	9	9.0%
高級レストラン経営者・スタッフ	5	5.0%	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%
一般レストラン経営者・スタッフ	2	2.0%	4	4.0%	6	6.0%	3	3.0%
スナック経営者	4	4.0%	3	3.0%	5	5.0%	4	4.0%
その他飲食の動向を把握できる者	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
サービス関連	20	20.0%	22	22.0%	29	29.0%	24	24.0%
観光型ホテル・旅館経営者・スタッフ	1	1.0%	5	5.0%	0	0.0%	1	1.0%
都市型ホテル・旅館経営者・スタッフ	0	0.0%	4	4.0%	4	4.0%	3	3.0%
観光名所・遊園地・テーマパーク職員	1	1.0%	3	3.0%	0	0.0%	6	6.0%
ゴルフ場経営者・従業員	0	0.0%	0	0.0%	3	3.0%	1	1.0%
パチンコ店経営者・従業員	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%
競輪・競馬・競艇場職員	0	0.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
その他レジャー施設職員	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%
旅行代理店経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	4	4.0%	3	3.0%
タクシー運転手	7	7.0%	3	3.0%	6	6.0%	3	3.0%
美容室経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
ガソリンスタンド従業員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
その他サービス等の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	6	6.0%	1	1.0%
住宅関連	4	4.0%	5	5.0%	3	3.0%	5	5.0%
設計事務所所長・職員	1	1.0%	2	2.0%	1	1.0%	2	2.0%
住宅販売会社経営者・従業員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他住宅投資の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
企業動向関連	19	19.0%	19	19.0%	23	23.0%	19	19.0%
地域の産業構造上特色ある企業経営者・従業員	10	10.0%	10	10.0%	17	17.0%	5	5.0%
農林水産業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
食料品製造業	3	3.0%	6	6.0%	2	2.0%	1	1.0%
繊維工業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
家具及び木材木製品製造業	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
一般機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
電気機械器具製造業(精密機械も含む)	0	0.0%	3	3.0%	5	5.0%	1	1.0%
輸送用機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	2	2.0%
その他製造業	1	1.0%	0	0.0%	4	4.0%	1	1.0%
非製造業	5	5.0%	0	0.0%	5	5.0%	0	0.0%
広告代理店従業員・新聞販売店[広告]店主	1	1.0%	4	4.0%	3	3.0%	4	4.0%
輸送業関係者	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	6	6.0%
司法書士・経営コンサルタント・会計事務所職員等	3	3.0%	2	2.0%	1	1.0%	4	4.0%
コピーサービス店員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他企業の動向を把握できる者	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
雇用関連	9	9.0%	8	8.0%	7	7.0%	8	8.0%
人材派遣会社社員・アウトソーシング企業社員	2	2.0%	6	6.0%	3	3.0%	3	3.0%
求人情報誌製作会社編集者	4	4.0%	0	0.0%	2	2.0%	3	3.0%
新聞社[求人広告]担当者	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%	2	2.0%
その他雇用の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

(単位:人/%)

近畿		九州		全国合計	
100	100.0%	100	100.0%	600	100.0%
68	68.0%	72	72.0%	428	71.3%
32	32.0%	35	35.0%	198	33.0%
7	7.0%	10	10.0%	28	4.7%
0	0.0%	3	3.0%	13	2.2%
4	4.0%	4	4.0%	31	5.2%
4	4.0%	6	6.0%	32	5.3%
3	3.0%	4	4.0%	26	4.3%
2	2.0%	2	2.0%	12	2.0%
1	1.0%	1	1.0%	4	0.7%
2	2.0%	3	3.0%	17	2.8%
5	5.0%	0	0.0%	9	1.5%
3	3.0%	1	1.0%	24	4.0%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
8	8.0%	8	8.0%	61	10.2%
2	2.0%	2	2.0%	16	2.7%
4	4.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	3	3.0%	21	3.5%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	23	23.0%	141	23.5%
2	2.0%	2	2.0%	11	1.8%
3	3.0%	1	1.0%	15	2.5%
3	3.0%	0	0.0%	13	2.2%
1	1.0%	3	3.0%	8	1.3%
0	0.0%	5	5.0%	8	1.3%
3	3.0%	2	2.0%	10	1.7%
1	1.0%	0	0.0%	3	0.5%
2	2.0%	2	2.0%	18	3.0%
3	3.0%	6	6.0%	28	4.7%
4	4.0%	2	2.0%	18	3.0%
1	1.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	7	1.2%
5	5.0%	6	6.0%	28	4.7%
1	1.0%	2	2.0%	9	1.5%
2	2.0%	4	4.0%	17	2.8%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	20	20.0%	123	20.5%
11	11.0%	13	13.0%	66	11.0%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
0	0.0%	3	3.0%	15	2.5%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
3	3.0%	1	1.0%	4	0.7%
3	3.0%	4	4.0%	16	2.7%
0	0.0%	3	3.0%	6	1.0%
2	2.0%	1	1.0%	9	1.5%
1	1.0%	0	0.0%	11	1.8%
3	3.0%	3	3.0%	18	3.0%
2	2.0%	3	3.0%	19	3.2%
3	3.0%	1	1.0%	14	2.3%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4	4.0%	0	0.0%	6	1.0%
9	9.0%	8	8.0%	49	8.2%
5	5.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	2	2.0%	13	2.2%
1	1.0%	3	3.0%	13	2.2%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%